

議長ティータイム

日時：令和4年10月18日（火）午後2時～

場所：議長執務室

1 今定例会を振り返って

（室長）

皆様お集まりいただきましてありがとうございました。ただいまから令和4年、9月定例会後の議長ティータイムを始めさせていただきたいと思います。それでは赤嶺議長からどうぞよろしく願いいたします。

（議長）

皆さんこんにちは。お忙しいところ、どうもありがとうございます。

9月定例会は、知事選挙の関係もあり、代表質問が二日間、一般質問が一日と大変短い質問になりましたが、この間ずっと選挙が続いておりますため、玉城県政、当選して初議会ということで各会派からの御質問などもあり、すぐまた決算委員会、それが終わるとまた11月議会も始まっていきます。

本日、全会一致で可決されましたが、嘉手納飛行場パパープ地区への防錆設備格納庫移設に関する意見書決議ということで、嘉手納町議会の皆さんもおっしゃっていましたが、これは以前からの懸案事項であり、住民、地域に近いところに移設するとやはり大変問題になるということはまだ明らかであるため、この件については全会一致で取れてよかったなと思っております。

次に、今月31日にハワイ州のデービット・イゲ知事が、沖縄県議会本会議場でスピーチしてくれることになっておりますため、今その準備をさせていただいてるところです。時間が14時半から1時間程度です。本人のスピーチは、通訳を入れて長くて40分ぐらいということで、1時間以内に終わって、そのあとまた世界のウチナーンチュ大会の開会式をセルラースタジアムにて行います。沖縄県系3世でアメリカ合衆国初の州知事ということで、我々県民にとっても誇りであり、同時にハワイで生活している皆さんにとっても誇りだと思っております。世界のウチナーンチュにとっても誇りであるため、これを記念すべく、世界のウチナーンチュ大会と、復帰50年という節目の年にスピーチいただけるということは非常にありがたいと思っております。7月に沖縄県議団で、私が実は団長で行ったのですが、世界のウチナーンチュ大会の副実行委員長という形でイゲ知事に招待状を渡して、来ていただける、家族で来られるとのことで

す。そういったことも合わせて、今回、講演をしていただけるのはありがたいと思います。

ちょっと雑駁なのですが、私のほうからは以上です。皆さんから質問などありましたらそれ以外のことでも構わないので答えられる範囲でお答えいたします。どうぞ。

(記者)

イゲ知事の講演についてです。何かお話しになるテーマなどは決まっていますか。

(議長)

直接具体的にこうしてほしいとまでは言っておりません。御本人は、直接沖縄に住んでいたわけではありませんが県系3世ということもあり、今年の11月で任期が切れるみたいではありますがハワイ州知事を2期務めており、その中で彼がしゃべりたいことをしゃべってほしいということはお伝えしております。しかし、数多くの世界のウチナーンチュがいる中でハワイには特に4～5万人くらいの県系人がいるため、そういったことも含めて話をしていただけるのではないかと考えています。

(記者)

加えて御本人のルーツに関するお話しなどもあるのでしょうか。

(議長)

そうですね。イゲ知事にお伝えしましたが、これからの沖縄とハワイとの関係であったり、若い子供たちのことも含めた世界のウチナーンチュの連携のあり方についても少しお話していただければと思っております。本会議場で話す前にまず議長室に一度お越しいただき、30分ほど時間をいただいているため、そのことも少しお話しをしようと思っております。

(記者)

わかりました。ありがとうございます。

(記者)

イゲ知事の他にも世界のウチナーンチュ大会に来られる要人はいるのでしょうか。

(議長)

要人という、ウチナーンチュは皆要人ですがどうでしょうか。

(室長)

イゲ知事以外に議長に対して表敬のアポイントがあるのは、同じハワイですがハワイ県人会長、あるいは北米沖縄県人会長、北米のロサンゼルスを中心とした沖縄県人会です、その他にはボリビアの県人会長となっております。

(議長)

実は7月にハワイに行き、その後9月にはカリフォルニアのロサンゼルスの北米県人会へも行っております。今度のイゲ知事のスピーチ依頼に伺ったのもその一環で、訪問団として僕ら議員が2チームに分かれて10名ずつ行きました。実はハワイは特に多いのですが、向こうでいう経済界からいろいろな方々が見えるため、個別単位、民間レベルでも、県がやっている世界のウチナーンチュ大会のメニューとは別で、話を結構進めております。一例を言うと、31日にイゲ知事が14時半からスピーチしますが、その前の10時にもてんぶす館でライオンズクラブ主催のイゲ知事のスピーチ・演説があります。これもやはり経済界中心で、おそらく200名程度集まると思いますが、これは県のイベント、セレモニーとは別になります。今のところ、イゲ知事をはじめ、ハワイのみならずいろいろな経済界の皆さんとのいわゆるマッチング、今後の経済交流とか人的交流も含めた話合いを個別でやっているところです。いわゆる有名人や要人でいうとおそらくイゲ知事ぐらいで、あとは誰か相当有名な人というわけではないかと思えます。

(記者)

スピーチの前にイゲ知事のプロフィールのようなものを事前にいただくことは可能でしょうか。

(議長)

準備したほうがいいかもしれませんね、はい、準備します。そういう形でまた取材いただけるとありがたいです。

(途中休憩)

(再開後)

(議長)

先程も少し話しましたが、今日の新聞記事にも出ていた議事録の件については、知事に改めて説明を求めています。これはやはり、今後、別にあちらが決

めることかもしれませんが、議会は基本公開であるため、何なら政務活動費でも全部領収書まで出しています。県民のためにこれほど透明性の確保に努めているにもかかわらず、幹部会議の議事録の概要すら作成していないということは、玉城県政の問題じゃなくて、県政のあり方として問題だと思っています。こういった経緯というものはもっとしっかり歴史として残しておかないと不利益が出ると思っているため、議長として、なぜそういうことになるのかということをやはり聞きたいと思っております。議会としてどうするかはまた今後ですが、なぜこのようなことになるのかということは聞きたいです。議事録さえないということは議論ができないということです。要するに、何もないということになればいろいろな決定過程が見えなくなるため非常にまずいことであり、民主主義の根幹に関わることだと思つたため、これを議長として説明を求めているということです。ただ向こうは「マスコミが入ると言えない」と言っています。まずは議長に丁寧に説明してからマスコミに言いたいと言っていますが、はじめからマスコミを呼べばいいじゃないですか。別に間違ってもいいですから。それを県民に示してもらいたいなと思つています。本日 13 時半頃にこの件についてマスコミの皆さんに言いましたが、そこは少ししてもらいたいなと思つております。そうしなければやはり後に記録というものが何もないということはやはりよくないと思っているため、そこはお願いをしているということです。

(記者)

マスコミに公開するという事になつてもしばしば執行部から「やっぱりできない。」というようなパターンが多いなという印象がありますがいかがでしょうか。前にも同じようなことがあつたような気がします。

(議長)

しよっちゅうあります。公開するのは嫌だなどと言っていますが、知事は「真摯にお答えします」などといろいろ言っていますが、言っていることとやっていることが違うわけです。別に機密事項まで言えと言っているわけではありません。基本的になぜこのような方針になるのかと問いたいです。そして、県の職員もそういうことが過ぎるので、極端な話、もう少し県民に情報として出してあげないとやはりいけないと思つております。例えば、僕が先に説明を受けてその後で皆さんにお伝えしても、この説明責任はこちら側に生じます。マスコミの皆さんというのは県民の目だと思つておりますし、県民に見せたほうがいいと思っているため、説明できないという理由がよく分からないのです。な

ぜ議事録のようなものを残さないかというだけの話です。だから、出さないという話になると、沖縄県政は非常に民主的ではないということになってきます。僕ら議会は、そこは自分の方針としてはしっかりと表に出したほうがいいと思っております。まあ、これは批判も賛同も含めて、甘んじて受けたほうがいいと思っております。議会はこの議事機関としてきちんとやれている理由をしっかりとした方がよいです。執行部は自分の都合、自分の都合のときだけ説明をしたがるんです。要するに、そこは違うのではないかと思っております。

ちなみに、今年の議会本会議初日に知事が御挨拶に来たいと言っていました。僕は断りました。議会初日だからです。その日は駄目ですと。別に会わないわけではないです。これから議論が始まる議会初日にたとえ5分だろうが10分だろうが、議長として知事と会うよりは、むしろ最終本会議の今日でいかがですかと振りました。ちゃんと終わってから。事前に会うのは、どうもよくないと思ったため、それは後からでいいのではないかと言ったら、それはなかったです。

言いたいのはそこです。感覚的に言うと、実はこれは何かというと、翁長県知事で僕が与党のとき、議会が始まる前日に、知事公舎に呼ばれました。そこで、30分ほどざっと説明してそのあと乾杯して酒を飲んで帰る訳です。これは談合以外の何物でもないなと思い、もう行きませんでした。一度こういうことがありました。これに行って調整して質問をしたら、「事前に集まっているのに」というようなことを言われたため、もう行きませんでした。冗談じゃないです。いくら与党でも、このようなことを前日にやられても、何にもならないからということでもう行きませんでした。あれは翁長さんのときだけです。

僕らは、例えば年に4回議会があればいろいろ調べて聞きたいことを考えて、知事がいるから聞きはしますが、そこはそれでも得られない答弁に対して本会議上でやはり聞きたいわけです。こちらは引き出したいわけですから。それを前日にやると「なんで前日に会っているのにこんな質問をするんだ」ということが、過去としてあったので、行かなくなりました。しかしこれは方針なので知事も挨拶に来ました。だから本当は知事は議会運営などが終わったら、もう形式上の挨拶に来なくてもいいとすら思っています。今回それに対して対応しなかったら、議長として、政治家としての僕の対応もちゃんと考えます。

(記者)

この初日、議会開会前に会おうというのは、何に関する意見交換なのでしょう。

(議長)

「当選したからよろしく」ということではないでしょうか。それはいいですよと。しかし、議会では急に何か起きるかもしれません。だからそこは終わってからでよいのではないですかと。最終日の今日でしたらもう採決も終わっていますし、何もないから、「おめでとうございます」と言えますが、そこを今から議会が始まるというときには困りますので、そのためお断りしました。別に会いたくないという理由などではないです。最終本会議の日で、採決も全部終わってからどうですかということです。

ではこの辺でよろしいでしょうか。どうもありがとうございました。お疲れさまでした。